

石川工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	建築CAD基礎
科目基礎情報					
科目番号	20506		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験・実習・実技		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年	3	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	関連プリントを配布する。				
担当教員	熊澤 栄二				
到達目標					
1. 2次元CADの使い方がマスターできる。 2. 建築設計図面をCADを使って作成する知識・技能を修得できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
到達目標項目1	コンピュータの応用的な使用方法、ソフトの使用ができる。		コンピュータの基礎的な使用方法、ソフトの使用ができる。		コンピュータの基礎的な使用方法、ソフトの使用ができない。
到達目標項目2	図形の応用的な描画および編集ができる。		図形の基本的な描画および編集ができる。		図形の基本的な描画および編集ができない。
学科の到達目標項目との関係					
本科学習目標 1					
教育方法等					
概要	建築CADの基礎的な技術習得を目標とする。 2次元の建築用CADソフトを用いて、建築設計基本図の描き方を習得し、専門的知識として作図における課題の解決に役立てる。				
授業の進め方・方法	JW CADによる建築設計製図の作図方法および2.5Dによるプレゼンテーションの方法を学ぶ。 【事前事後学習など】演習テーマごとに提出物を確認する。 【関連科目】建築設計、建築構造関連科目、コンピュータリテラシー、建築CAD応用、等				
注意点	演習テーマごとに成果を提出してもらいます。毎回完成させて提出すること。 制限時間内に効率よく描き上げるために、自らCADによる図面の描き方を工夫しながら技能を向上させることが大切です。 木造小規模住宅を計画する上で必要な知識を確認しながら進めることが重要です。 【評価方法・評価基準】 中間試験および期末試験を実施する。 試験成績 (70%)、演習課題成果成績 (30%) 成績の評価基準として50点以上を合格とする。				
テスト					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	CADの基本操作	CADの基本操作が理解できる。	
		2週	CADの作図練習 1	各種コマンドが理解できる。	
		3週	CADの作図練習 2	各種コマンドが理解できる。	
		4週	CADの作図練習 3	各種コマンドが理解できる。	
		5週	CADの作図練習 4	各種コマンドが理解できる。	
		6週	建築図面のトレース演習	建築図面のトレースができる。	
		7週	建築基本計画図の作成演習 1	建築図面のトレースができる。	
		8週	建築基本計画図の作成演習 2	建築図面のトレースができる。	
	2ndQ	9週	CADプレゼンテーション作成1	2.5Dの操作概念が理解できる。	
		10週	CADプレゼンテーション作成2	2.5Dの操作概念が理解できる。	
		11週	CADの作図練習 5	プレゼンテーションに必要な操作方法を理解できる。	
		12週	CADの作図練習 6	プレゼンテーションに必要な操作方法を理解できる。	
		13週	CADの作図練習 7	プレゼンテーションに必要な操作方法を理解できる。	
		14週	印刷レイアウト図面の作成	プレゼンテーションに必要な操作方法を理解できる。	
		15週	後期の復習、レポート返却等	CADの操作方法、プレゼンテーションの方法が理解できる。	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合		試験	ポートフォリオ	合計	
総合評価割合		70	30	100	
基礎的能力		0	0	0	
専門的能力		70	30	100	
分野横断的能力		0	0	0	